

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	世界トップレベル研究拠点プログラム	担当部署	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度・なし	担当課室	基礎研究振興課	基礎研究振興課長 安藤 慶明				
会計区分	一般会計	政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-3 科学技術システム改革の先導					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、優れた頭脳の獲得競争が世界的に激化している中で、我が国が科学技術の力で世界をリードしていくためには、優秀な人材の世界的な循環の「環」の中に位置付けられ、内外の研究人材が自然に蓄積されるような研究機関を我が国にも作っていく必要がある。 本事業において、世界的な著名研究者を拠点長として責任者に位置付け、その下に高いレベルの研究者が集結する、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を構築することを目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本プログラムは、大学等を対象とし、高いレベルの研究者を中核とした拠点形成を目指す構想に集中的な支援を行う。研究対象は、基礎研究分野(基礎から応用への展開を目指す分野を含む。)で、複数の分野にまたがる融合領域とする。5年ごとの評価を経た上で、1拠点当たり年間13~14億円程度(平成24年度採択拠点については年間最大7億円程度)の支援を10年間(特に優れた拠点については15年間)行う。本プログラムは研究費を提供するプログラムではなく、拠点形成のための基盤的経費を支援するものであり、各拠点には国からの支援額と同程度以上の研究費等のリソースを別途確保することを求めている。本補助金は機関に対する定額補助となっている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算状況	当初予算	7,283	8,125	8,925	9,769	9,769	
		補正予算	-	-	2,000	-		
		繰越し等	17	117	▲2,000	2,000		
		計	7,300	8,242	8,925	11,769	9,769	
		執行額	7,299	8,241	8,925			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(37年度)	
	※拠点毎の達成度は、5年毎に中間評価を実施し、プログラムの趣旨に添った拠点となっているか厳正な評価を行う。	成果実績	拠点	6	6	9	約16	
		達成度	%	約38	約38	約56		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研究者数 主任研究者数 研究者に占める外国人研究者の割合	活動実績 (当初見込み)	人	935	980	1,151		
			%	153 44	154 40	194 42	—	
			()	()	()	()		
単位当たりコスト	研究者一人当たりのコスト764(万円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度補助金額8,791百万円/研究者数(平成24年度実績)1,151人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際研究拠点形成促進事業費補助金	9,606百万円	9,587百万円	先行拠点の成果創出を確実に支援するため、行政事業レビューの指摘も踏まえ、進捗把握のための経費を見直し、拠点の事業推進費のうち調査費相当分について効率化を図り事務委託先にて一括して調査を実施することにより、より重点的かつ確実に効果検証を行うこととした。				
	科学技術総合研究委託費	159百万円	178百万円					
	職員旅費・庁費	3百万円	3百万円					
	計	9,769百万円	9,769百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	第4期科学技術基本計画において、「国は、世界第一線の研究者の集積、迅速な意思決定、独自の人事及び給与体系、全ての職務における英語使用、卓越した融合研究領域の開拓によって、優れた研究環境と高い研究水準を維持する世界トップレベルの拠点の形成を促進する。」と明記されるなど、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	補助金の支出先の選定にあたっては、外国人3割以上を含む外部有識者から成るプログラム委員会において、厳格な審査を行っている。事業委託の支出先の選定にあたっては、広告期間を十分に確保した上で公募(企画競争)を実施しており、十分な競争性を確保している。また、経費の執行に関して、本事業が効率的・効果的に進められているのかを確認すべく、現地調査や実績報告書等により、補助金等の使用状況、事業目的との整合性、コスト水準の妥当性等の把握に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	本事業では、下述の複層的かつきめ細やかなフォローアップを実施しており、各拠点がこれらに真摯に対応することにより、毎年の改善に繋げることに成功している。 また、アウトリーチ担当者会議を設置し、研究コミュニティーのみならず広く社会・国民に対する戦略的・組織的なアウトリーチ活動を行っている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複 排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
点検 結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	大学の学長や、学長経験者、ノーベル賞受賞者、産業界、そして著名外国有識者3割以上を含むプログラム委員会(委員長:井村裕夫[元京都大学総長])において、プログラム・ディレクター(PD)及び各拠点のプログラム・オフィサー(PO)が行う報告及び各拠点長やホスト機関長等からのヒアリングを基に、毎年厳格な評価を行っており、手厚いフォローアップを実施している。フォローアップは、各拠点による自己評価書の提出、PD及びPOIに加えて外国人研究者を半数程度含む専門家から構成される作業部会によって実施されるサイトビジット等を通じた丁寧な進捗状況の把握、そしてそれら全てを踏まえた上で実施される上記のプログラム委員会による専門的な助言及び指導というように、複層的かつきめ細やかに行われている。本フォローアップによる助言及び指導等に真摯に対応することにより、毎年の改善に繋げることに成功している。また、経費の執行に関しても、本事業が効率的・効果的に進められているのかを確認すべく、現地調査や実績報告書等により、補助金等の使途や使用状況、事業目的との整合性、コスト水準の妥当性等の把握に努めている。					
	事業全体としても、平成24年度に、本プログラムの新たな展開として先鋭な領域に焦点を絞った3拠点を新たに採択するなど、事業の目的達成に向け、着実に進捗している。 ※なお、本事業は事業仕分け第3弾の評価結果を受け、平成23年度予算より非競争的資金として整理されている。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、国内外から高いレベルの研究者が結集する世界トップレベルの研究拠点の形成を目指すものであり、長期継続事業、事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成19年度以降長期に継続している事業であり、毎年実施している手厚いフォローアップ等により、世界トップレベル研究拠点の構築をより確実なものとするための助言及び指導がなされていることは評価できる。なお、引き続き、事業の効果的な実施を目指し、事業成果の検証を行うべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	本事業においては、各拠点とも国内外からの人材の獲得、研究者の30%~50%が外国人、世界トップの大学等と同等あるいはそれ以上の質の高い論文の輩出など、高い成果が上がっていると認められる。引き続き、事業の効果的な実施を目指し、補助金等の使途や使用状況、事業目的との整合性、コスト水準の妥当性等の把握のため、現地調査やプログラム委員会等の手厚いフォローアップを通じて事業成果の検証を着実かつ確実に実施する。					
備考						
【事業仕分け第1弾の評価結果】 事業番号・事業名: 3-22 競争的資金(外国人研究者招へい)(世界トップレベル研究拠点(WPI)プログラム) WGの評価結果: 予算要求の縮減 とりまとめコメント: 世界トップレベル研究拠点(WPI)プログラムについては、廃止2名、予算計上見送り1名、予算要求通り1名、予算要求の縮減7名で、縮減のうち半額縮減が2名、1/3縮減が4名、その他1名との内訳であった。この中では、新規要求の拠点については実施しないという意見があった。当WGは、予算要求の縮減を結論とする。						
【事業仕分け第3弾の評価結果】※「とりまとめコメント」については、WPIIに関するコメントが無いため省略 事業番号・事業名: A-24 競争的資金 WGの評価結果: (制度)見直しを行う (予算)予算要求の縮減(1割程度)						
【事業紹介ホームページ(文部科学省ホームページ)】 http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/toplevel/index.htm						
【事業紹介ホームページ(日本学術振興会ホームページ)】 http://www.jsps.go.jp/j-toplevel/index.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0207	平成23年	0222	平成24年	0239

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
8,925百万円

職員旅費・庁費 3百万円 } を含む

世界的な著名研究者を拠点長として位置付け、その下に高いレベルの研究者が結集する、優れた研究環境と高い研究水準を誇る世界トップレベルの研究拠点を形成することを旨とする。

【公募・補助】

【企画競争・委託】

A.世界トップレベル研究拠点プログラム事業
大学、独立行政法人
全：9機関 8,791百万円

採択された大学及び独立行政法人へ、世界トップレベルの「目に見える」研究拠点の形成に必要な補助金を交付する。

B.世界トップレベル研究拠点プログラム支援事務
日本学術振興会
131百万円

プログラムを効率的・効果的に推進していくため、拠点の採択に必要な審査・プログラムの実施に必要な評価、プログラム管理業務を委託する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東京大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	拠点長、事務部門長及び主任研究者等給与	729			
事業推進費	招へい研究者の研究環境整備のための経費、国際シンポジウム開催等	581			
旅費	学会への出席に伴う国内旅費	49			
計		1,359	計		0
B.日本学術振興会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務実施費	旅費(国内旅費、外国旅費、外国人等招へい旅費、招へい外国人滞在費)	36			
	謝金等(諸謝金)	28			
	その他(消耗品、通信運搬費、会議開催費、印刷製本費、雑役務費、消費税相当額)	32			
人件費	担当職員給与	23			
一般管理費		12			
計		131	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.大学、独立行政法人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli IPMU)	1,359	-	-
2	大阪大学	免疫学フロンティア研究センター(IFReC)	1,344	-	-
3	物質・材料研究機構	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)	1,344	-	-
4	京都大学	物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)	1,329	-	-
5	九州大学	カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(IFReC)	1,324	-	-
6	東北大学	原子分子材料科学高等研究機構(AIMR)	1,304	-	-
7	名古屋大学	トランスフォーメティブ生命分子研究所(ITbM)	302	-	-
8	東京工業大学	地球生命研究所(ELSI)	262	-	-
9	筑波大学	国際統合睡眠医科学研究機構(IIS)	221	-	-

※補助事業

B.独立行政法人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本学術振興会	プログラムの審査・管理・評価に関する業務	131	企画競争	-